

■ 展覧会開催のご案内



Tōkyō rabu, 2019, Collage on canvas, 46 x 38 cm

Weekend Plans

MATTHEW ROSE

2019.12.7 Sat - 2020.1.13 Mon

マシュー・ローズ 週末計画

軽井沢ニューアートミュージアム
ギャラリー 2, 3

軽井沢ニューアートミュージアム・ギャラリー（ホワイトストーン・ギャラリー軽井沢）ではパリを拠点とするアメリカ人アーティスト、マシュー・ローズの日本で初となる個展『週末計画 (Weekend Plans)』を開催いたします。つきましては、本展覧会の周知にご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 開催概要

展覧会名 マシュー・ローズ 週末計画 **Matthew Rose Weekend Plans**

会期 2019年12月7日～2020年1月13日

会場 軽井沢ニューアートミュージアム 1F ギャラリー（ホワイトストーン・ギャラリー軽井沢）

住所 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1151-5

電話 0267-46-8691

開館時間 10:00～17:00

休館日 月（月曜が祝日の場合は翌日）、年末年始休暇 12月29日(日)～1月2日(木)

観覧料 無料

アクセス JR軽井沢北口徒歩8分

関連イベント

2019年12月7日(土) 14:00 - 17:00

オープニングレセプション

場所：軽井沢ニューアートミュージアム1Fギャラリー

※作家在廊、入場無料

■ マシュー・ローズの作品

カンバスや紙の上に表現された幻想的なコラージュ作品や既存のものを利用したオブジェで世界中にコレクターを持つマシュー・ローズ。その抽象的で比喩的なコラージュ作品はシュールなロマン・ア・クレフ（実話小説）となっており、入り組みながら複雑に組み合わさった彼の世界の自伝にもなっています。

「Second Hand Clock」、「Fantasms」、「End of the World」などの立体オブジェには、哲学的なユーモアやローズの言語学や記号論への興味が滲み出ています。また、1970年代のキッチュなポルノ本をもとにしたコラージュ作品も展覧いたします。これらの小さくも親密感あふれる紙作品は、あたかも言葉のない劇場のように静かに共鳴します。そこでは、偽りのロマンティックな出会いの物語が、憧憬・退屈・欲求不満・ばかばかしさ、などが錯綜する奇怪なドラマへと変貌を遂げているのです。

1959年にニューヨークで生まれたマシュー・ローズは、ブラウン大学（ロードアイランド州プロビデンス）で学んだのち、1992年にパリへ渡り、自身のスタジオを立ち上げ、多くのコラージュや絵画作品を制作してきました。その作品はヨーロッパ、アメリカ、カナダ、韓国などで公的機関のみならず個人コレクターによって収集されています。

マシュー・ローズは偶然見つけたり、切られたり破れたりした紙を現代的な語法を用いて物語や視覚空間に変貌させることに魅せられてきました。コラージュという手法と、断片的であるというその生有の性質によって、「ハサミを使い、文学的かつ隠喩的に表現する」道が作家に開かれたのです。彼の作品には、ダダやフルクサスなどの芸術運動はもとより、ジョゼフ・コーネル、ジャスパー・ジョーンズ、ロバート・ラウシェンバーグ、レイ・ジョンソン、クルト・シュヴィッターズら20世紀を代表するアーティストたちと同一の方向性が見て取れます。

「私はスピーディーに制作するし、しばしばデザインすら意識していない。切れ端や断片から、音楽を創るようにね。」

意味が解体し、単なる紙の小片と化すまで単語を切り刻むことによって、それら断片化した諸要素は却ってその起源をちらつかせます。不在の在を生み、慣れ親しんだようでいて異質なものを示しつつ。

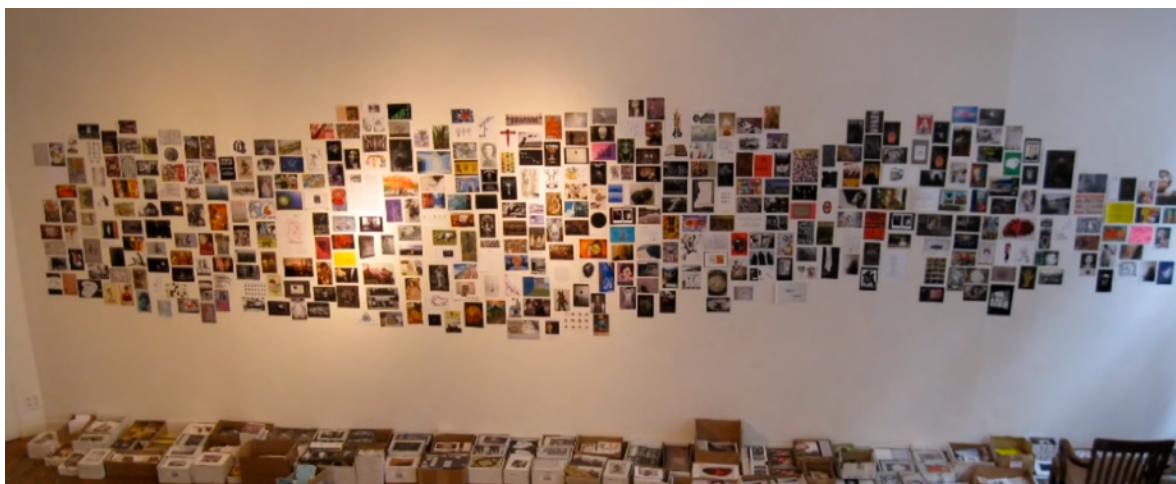
コラージュ作品に加え、ローズ制作による切手シートも展示・販売されます。2009年に制作されたアートと野球をモチーフにした「Rubens Rounding Third」と、キッチュな「Weekend Plans」（2019）のコレクションです。サイン・日付・シリアルナンバーが入れられており、各50シート限定。会期中に購入できます。



The End of the World (Gold Edition), 2008,



Palmer, 2016, 40 x 40 cm



A Book About Death, 2009, エミリー・ハーヴェイ財団ギャラリー展示風景（一部）

■ 共同プロジェクト「A Book About Death」について

マシュー・ローズが考案、キュレーションを行なった国際的なコラボレーション・プロジェクトの「A Book About Death」も併せて展示いたします。

2009年にニューヨークのエミリー・ハーヴェイ・ファンデーションから始動したプロジェクトであり、メール・アートの提唱者であるレイ・ジョンソン（1927-1995）と彼の作品「A Book About Death」（1963-1965）、そしてフルクサスのアート・ディーラー、エミリー・ハーヴェイ（1941-2004）への追悼の意が込められたインスタレーション作品です。マシュー・ローズはこの作品のために、死をテーマにしたカードの制作をアーティストたちに依頼、それらを500枚集めると未製本の本となるというコンセプトです。

個別にボックスに入れられギャラリーの床に配置された各アーティストの作品は、共同墓地を思わせます。来場者は、それぞれのボックスからカードを選ぶようにいざなわれ、それがひとつの完全なアート作品となるように、自由に一枚ずつ選んでいきます。ボックスからボックスへと移動してカードを得るには、まず膝を折り曲げてしゃがみ込まなければならない。この一種の苦行は、「A Book About Death」というプロジェクトに不可欠なパフォーマンス性なのです。

このプロジェクトの出発点となった作品は、ニューヨーク近代美術館（MoMA）やロサンゼルス・カウンティ美術館（LACMA）に収蔵されています。この共同プロジェクトは継承され、先だっの9月、ニューヨーク州ロングアイランドのアイスリップ・アート・ミュージアムで10周年を迎えました。これまでにおよそ50ヶ国から7,000人もものアーティストが参加、展示はヨーロッパ、アメリカ、ブラジル、オーストラリアなど30ヶ所に及びます。こちらも日本初上陸となります。

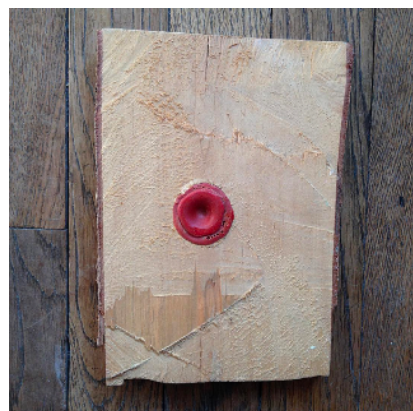
■ 展示作品（一部）



左：マシュー・ローズ「Another Sad LoveSong」2016, Collage on canvas, 30 x 30 cm

中：マシュー・ローズ「ROMA FADE」2017, Collage on canvas, 40 x 40 cm

右：マシュー・ローズ「THE EGG CARRIERS」2017, Collage on canvas, 40 x 40 cm



左：マシュー・ローズ「La Tristesse 悲しみ」2019, Collage on canvas, 40 x 30 cm

中：マシュー・ローズ「Mmmm」2019, Collage on canvas, 56 x 46 cm

右：マシュー・ローズ「Anatomy of Loneliness Lesson」1998, Wax and Wood, 27 x 20 cm

■ 本展に関するお問い合わせ

軽井沢ニューアートミュージアム 榎谷（マサヤ）

389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢1151-5 TEL 0267-46-8691 FAX 0267-46-8692

E-mail : masaya@knam.jp ※画像データなどご希望の方はお気軽にお問い合わせください。